

事業番号	10 07 05	事業改善シート (26年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検		
事業名	都市公園事業費				担当課	部局	建設部			
						課・室	都市・まちづくり課			
総合5か年計画	プロジェクト				実施期間	E-mail	toshi-machi@pref.nagano.lg.jp			
	施策の総合的展開	4-1	地域防災力の向上							
		5	災害に強い建物・道路等の整備							
		5-2	快適で暮らしやすいまちづくり							
3	ゆとりある住環境の形成									
						H20		～		

## 1 事業の概要

目指す姿	既存公園施設を健全な状態に改修・改善を行うことにより、住民福祉の増進に寄与する。 また、一部の都市公園は地域防災計画で避難施設・避難地として指定されていることから、避難地等としての防災機能の向上を図る。		
現状 (予算編成時)	県営都市公園は最も新しい公園で設置後10年以上、ほとんどの公園が20年以上経過しているため各施設の老朽化が進行している。そのため、公園施設の劣化や損傷を適切に把握した上で、公園施設の維持保全、点検・調査、撤去・更新等に係る費用(トータルコスト)が最小となる維持管理・更新計画(公園施設長寿命化計画)を平成25年度末までに策定し、今後については、当該計画に基づいた公園施設の更新等を実施する。 改築・更新の実施に当たっては、国庫補助採択基準に合致する一定規模以上の公園は、国の交付金等を活用していく。		
県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】 都市公園法第2条の3、第12条の2	
	県民との協働による実施：実施は困難		

成果目標・事業内容	① 成果目標 (H26)				
	長野県公園施設長寿命化計画に基づき、緊急性などを考慮した優先度付けを行い、公園施設の改築・更新工事を実施する。				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H26事業実績		H27
			(当初)	(決算)	(当初)
改修工事	直接	松本平広域公園 総合球技場トイレ改修 松本平広域公園 陸上競技場改修、大型映像装置改修 南信州広域公園 展望台改修ほか	390,000	505,485	670,950
合計			390,000	505,485	670,950

事業コスト	区 分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越	121,071	268,437	304,293	394,578
	当初予算	357,990	42,000	390,000	670,950
	補正予算	71,150	289,800	205,770	
	合計(A)	550,211	600,237	900,063	1,065,528
	Aの財源				
	一般財源	42,297	14,767	34,116	57,737
	県債	243,000	295,000	437,000	491,000
	国庫支出金	264,914	290,470	428,947	516,791
	その他	0	0	0	0
決算額(B)	281,774	295,944	505,485		
概算人件費					
職員数(人)	2.90	3.02	8.18	11.96	
概算人件費(C)	-	-	-	-	
概算事業費(B(A)+C)	281,774	295,944	505,485	1,065,528	

成果目標の達成状況					
項目	H25末 (実績)	H26			H27 目標
		目標	成果	達成状況	
長寿命化対策実施箇所数	-	6公園	6公園	達成	-
大型電光掲示盤改修工事進捗率	-	60%	60%	達成	100%
長寿命化対策実施箇所数	-	-	-	-	18箇所

目標に対する成果の状況	6公園の施設の改修・改善工事を実施し、公園機能の向上、利用者の安全性確保を図った。 また、老朽化が著しい旧型の施設を改修し、競技環境の充実を図った。
-------------	---

## 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	公園施設長寿命化計画に基づき、計画的な公園施設の修繕、改築を行い、公園施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図る。